

ベトナムで廃棄物発電プロジェクト始動

2025年4月7日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナムで廃棄物発電プロジェクト始動

ベトナム企業である Vietstar 社は、ホーチミン市クチ県において廃棄物発電プロジェクト「Vietstar 焼却発電所」を正式に着工した。処理能力は初期段階で 1 日あたり 2,000 トンに設定されており、将来的には 5,000 トン以上への拡張も計画されている。本プロジェクトは、長年ベトナム国内で深刻化してきた埋立地の過剰負荷や環境汚染への対応策として注目されている。特に家庭ゴミに加え、産業廃棄物の急増が処理能力を圧迫する中、廃棄物のエネルギー化によって処理と発電を同時に実現する革新的な取り組みとされている。

Vietstar 社は、世界水準の最新技術を導入し、排ガス・排水・固体廃棄物の処理に関する環境基準を順守する姿勢を示している。さらに、建設業務を担当するベトナム企業である Viettel 建設総合会社は、インフラやエネルギー関連の国家プロジェクトでの経験を活かし、全工程を 1 か月短縮しながら品質とスケジュールを両立させる意向を示した。

また、ベトナム政府機関であるホーチミン市人民委員会のブイ・スアン・クオン副委員長は、建設許可取得からわずか 2 週間での着工を高く評価し、第 1 段階の工期を従来の 16 か月から 12 か月に短縮するよう要請した。ベトナム政府も今後の段階的な拡張に向けた支援と許可手続きの迅速化に協力する姿勢を表明しており、本プロジェクトがベトナム国内における持続可能なエネルギー政策の実現に向けた重要な一步となることが期待されている。

以上